



牛黄に期待される作用

症状	牛黄の作用
動悸、息切れ、めまい 	強心作用：心臓に対してジギタリス（強心剤）類似作用があり、心臓の収縮力を強くします。また心臓血管拡張作用などが確認されています。
高血圧	血圧降下作用：高すぎる血圧を下げて、下げすぎないという作用があります。血行を改善し、血圧が下がることにより肩こりや頭痛、のぼせに効果があります。
発熱	解熱作用：体内に入り込んだ熱を体外に発散させるとされています。
のどの腫れや痛みなどの かぜの諸症状 	抗炎症・抗ウイルス作用：自己免疫力を高めることによって、ウイルスの働きを弱めます。 牛黄を風邪の時に服用すると、解熱作用だけでなく、治りも早いということが経験的に分かっています。
アレルギー	免疫に対する作用：牛黄は免疫力が低下している状態では免疫力を高め、異常に高まっている（アレルギー）状態では抑制する働きがあります。
疲労倦怠感、 二日酔い、 悪酔い 	肝臓保護作用：肝臓の血流量を増加させ、細胞膜を安定させる作用が認められています。
ストレス、不眠	鎮静作用：過敏になっている神経の働きを整え、ストレスを和らげる作用があります。
食欲不振、消化不良、 腹部膨満感	利胆作用：脂肪の消化を助ける胆汁の分泌を促進し、消化不良を改善する作用があります。
冷え、 手足のしびれ、 貧血、たちくらみ 	毛細血管拡張作用：毛細血管を広げ、血行を促進し、末梢血行障害を緩和します。 造血作用：赤血球やヘモグロビンの数を増やし、貧血を改善します。
抗活性酸素作用 	抗酸化作用：過剰な活性酸素は脂質を過酸化させ、細胞を老化させてしまいます。活性酸素は動脈硬化や肝障害、脳卒中の後遺症の程度に関係しているといわれていますが、牛黄はビタミンEの3倍の抗酸化作用が認められています。
手足のけいれん、腹痛、 さしこみ	鎮痙作用：けいれんを鎮めます。

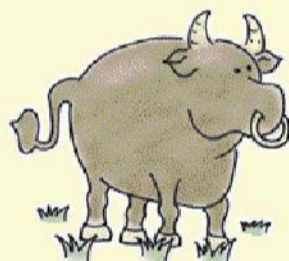
必見!

牛黄のちから

修復に最高の療養法

脳卒中後の痛んだ脳神経回路の

牛黄は二千年以上も前から命を高める秘薬として中国や日本で珍重されてきました。現在でもその高い評価は全く変わることがありません。



牛黄はウシの胆のう中に生じた結石のことをいいます。性状は球形が多いのですが、サイコロ状、三角形のものもあります。質はもろく、砕きやすく、破砕面には黄褐色〜赤褐色の輪層紋があり、またしばしば輪層中に白色の粒状物又は薄層をまじえます。牛黄は主な薬効だけでも、強心、解熱、鎮静、鎮痙、抗炎症、胆汁分泌促進作用等が知られ、成分としてビリルビン、コ



牛の胆石 牛黄



成光はツキを呼ぶ独自の薬を創る会社です
成光薬品工業株式会社
〒635-0834 奈良県北葛城郡広陵町大字739
TEL 0745-55-0044 FAX 0745-55-5265
URL http://www.asm.ne.jp/~seikou/



理念
漢方薬医薬品の販売は、一人一人の人間を救う事ができる神の御業である。中身は日本一、天下に神に捧げる品也。人を育てるとは、天に通じる心をみがく事にある。

成光薬品の相談窓口

情報

Q (相談) 70歳 男性
妻が脳出血で倒れ、2ヶ月程度経過しました。体力も衰えてきているので、田七人參（肝・糖・減・肥）を飲ませていいか？
血糖値が高く、肥満です。

A (回答)
肥満で糖尿の気があり、血圧の不安定な方には最適です。田七人參（肝・糖・減・肥）は循環器系のみならず、内臓の機能を高めますので、病後の療養として用いてください。

このように、成光薬品では相談窓口を開設しております。お電話の際は「相談窓口お願いします」と、お気軽にお申し付け下さい。

相談窓口 **0745(55)0044**

受付時間 10時～17時(土・日・祝を除く)

相談窓口担当者 管理薬剤師 小原 喜博
おぼら きのひろ

伊勢神宮に石灯籠を奉獻

「お伊勢さんの石灯籠」として愛されている伊勢神宮参道の石灯籠。昭和30年頃、内宮、外宮を結ぶ参道（御幸道路）に建立されてはや半世紀。幾多の歴史を刻んで今日に至ったことと思います。

そんな石灯籠が、神宮式年遷宮奉祝記念事業の一環で、次の諸事情によりすべて撤去され、新設されることになりました。

- ・50年余に亘る風雪に耐え、石質が劣化したこと
- ・神宮の景観に調和した風格ある街づくりに寄与すること
- ・予測される東南海大地震に備えた耐震構造とし、人命尊重を第一とする 等

成光薬品では、現在奉獻させて頂いている石灯籠の撤去に伴い、新設石灯籠奉獻の依頼に賛同し、改めて石灯籠を奉獻させて頂くことになりました。今から完成が楽しみです。

※「式年遷宮」……二十一年に一度、御正殿を始め全百二十五社に及ぶ神殿を造り替え、殿内に納める御装束・神宝類を新調し、神を清浄な地にお迎えする、世界に類をみない大祭。



石灯籠奉獻の案内と昭和31年に奉獻した石灯籠

『薬祖神 月次祭』〜薬の神様に感謝〜

成光薬品では、毎月一日(月の初営業日)と研修会開催日に「月次祭」を執り行っています。これは薬の大元の大神である薬祖神に対し、感謝の心を伝える事を目的としています。

月次祭開催時は張りつめた空気に包まれており、そんな中、社長自ら斎主となり祝詞を奏上し、続いて社員一同で感謝の心を伝えていきます。

成光の薬を取扱い、一人一人の人間を救う事に誇りを持つこと、又、「感謝」の精神を再認識出来る大変意味のある祭りとなっています。



社長自ら祝詞を奏上